shine（詩）

あくあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ｓｈｉｎｅ（詩）

【Ｎコード】
Ｎ１１６５Ｂ

【作者名】
あくあ

【あらすじ】
春風に吹かれる２人は、運命のその日まで互いを見つめる…

春風が吹く

私の周りをくるくる回るの

ただそれだけで、笑顔がこぼれる

恋をしたから…

君の後ろ姿はとても格好良くてつい見とれちゃって…

多分私の近くにいた人は私が変な人に見えたかも知れない

でもそんなことどうだっていいんだ

私は出会いの春に出会ったの

運命の人と

好き…好きなの

まだ窓の外から眺めてるだけだけど

いつか打ち明けたい

日に日に想いは大きくなって、小さくなることはない

そっと念じるの

こっち向いて…こっち向いて…

振り返ってくれるだけでいい

これほどの愛を、あなたは受け止めてくれるかな？

きっと振られても、後悔はしない自信あるよ？

私は今、いままで出会ったことのない恋心と

光り輝くあなたと出会うことが出来たこと、

それだけでこの世の人に感謝したいくらいなんだから…

大好きです…心から君を想う…

君は気づいているだろうか

僕が君を見ていること…

窓から遠くを眺めている姿がとても可愛くて

一目で恋に落ちてしまった

君が僕の後ろを歩いてると、変に意識しちゃって…
動きとか変になっていたりするかもしれない…
恋は僕を狂わす
たくさんの人の中で、瞬時に君を捜せる
こんな能力がなんだか恥ずかしい…
僕は君に恋してる
いつか気づいてもらえたら
僕は振られても笑顔だろう…
春の風が僕を包む
空を仰げば青い空と白い雲
そして眩しい太陽…
それ以上に輝く君に、僕は今日も目を奪われているんだ…
今まで体験したことのない溢れ出すこの想いは
真っ直ぐ君に向かって続いている…

春のある日、２人は出会う

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n1165b/

---

shine（詩）

2011年1月31日04時59分発行